

# 1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年1月21日

## 【評価実施概要】

|       |  |         |           |
|-------|--|---------|-----------|
| 事業所番号 | 2893700050                             |         |           |
| 法人名   | 社会福祉法人 博愛福祉会                           |         |           |
| 事業所名  | サンホームみかづきグループホーム                       |         |           |
| 所在地   | 兵庫県佐用郡佐用町志文 5 1 5<br>(電話) 0790-79-3145 |         |           |
| 評価機関名 | 株式会社H.R.コーポレーション                       |         |           |
| 所在地   | 兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号                   |         |           |
| 訪問調査日 | 平成20年12月2日                             | 評価結果確定日 | 平成21年2月4日 |

## 【情報提供票より】 (20年11月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |           |                        |      |
|-------|-----------|------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成20年3月1日 |                        |      |
| ユニット数 | 2 ユニット    | 利用定員数計                 | 18 人 |
| 職員数   | 21 人      | 常勤人11, 非常勤13人, 常勤換算10人 |      |

### (2) 建物概要

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 建物構造 | 準耐火    | 造り    |
|      | 1 階建ての | 1 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                   |                |          |
|---------------------|-------------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額)            | 40,000~43,000 円   | その他の経費(月額)     | 25,000 円 |
| 敷金                  | 有(円) 〇無           |                |          |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 〇(100,000 円)<br>無 | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 〇    |
| 食材料費                | 朝食                | 円              | 昼食 円     |
|                     | 夕食                | 円              | おやつ 円    |
|                     | または1日当たり          |                | 1,100 円  |

### (4) 利用者の概要 (11月20日現在)

|       |           |       |      |    |      |
|-------|-----------|-------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名      | 男性    | 4 名  | 女性 | 14 名 |
| 要介護 1 | 1         | 要介護 2 | 5    |    |      |
| 要介護 3 | 5         | 要介護 4 | 5    |    |      |
| 要介護 5 | 2         | 要支援 2 | 0    |    |      |
| 年齢    | 平均 86.5 歳 | 最低    | 73 歳 | 最高 | 99 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                  |
|---------|------------------|
| 協力医療機関名 | 広瀬医院・武内歯科・佐用共立病院 |
|---------|------------------|

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑豊かな山里の透き通った水の流れる川のそばに、平屋の日本家屋風の建物で地域の環境に溶け込んだホームである。高齢者及びその家族の尊厳ある生命と暮らしを守り、個々のニーズに応じた援助を行うと共に、地域社会に貢献することを理念に掲げ、同敷地内の特別養護老人ホーム・小規模多機能型居宅と共に地域活動や地域行事には利用者・職員ともに積極的に参加し、交流を持っている。また、地域で暮らす高齢者の方の相談や民生委員からの相談を受け地域貢献に努めている。管理者・職員は利用者と共に過ごす中で本人が訴えられる思いや意向に出来る限り添えるように支援し、住み慣れた場所で豊かな人間関係を保ち暖かい家庭的な暮らしの継続ができるよう努めている。

## 【重点項目への取組状況】

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)  |
|      | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)<br>自分たちの実施している日々のケアの振り返りの機会と捉え管理者・職員共に今回の自己評価を作成した。   |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)<br>同敷地内の小規模多機能型居宅と一緒に、役場健康保険課職員、地域包括センター職員、地区民生委員、地区自治進行振興委員、家族代表者の参加の下、2ヶ月に1回実施している。事業所の現状や行事の報告、災害時の協力依頼などを会議で行い、出された意見や要望を活かしサービスの質向上に役立てている。   |
|      | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)<br>普段から家族来訪時には、職員から話しかけを行い意見や提案を聞くようにしている。出された意見や提案を前向きに捉え、職員で話し合いを行い、早期に改善できるように取り組んでいる。   |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)<br>地域活動や地域行事には利用者・職員ともに積極的に参加しホームから積極的に関わりを持つようになっている。法人全体で行われる納涼祭や創立記念などには地域の方の参加がある他、地域の季節行事への来訪もある。普段は近隣の方の立ち寄り、立地条件的に難しいが、家族の来訪は頻回にある。畑仕事をしている時などは、地域の方より話しかけがある。よらず相談の場では、地域で暮らす高齢者の方の相談や民生委員からの相談などあり地域への貢献を行っている。 |

## 2. 第三者評価報告書

| 第三者                | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|----|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| <b>1. 理念に基づく運営</b> |    |  |   |                     |                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |    |  |   |                     |                                   |
| 1                  | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 「高齢者及びその家族の尊厳ある生命と暮らしを守り、個々のニーズに応じた援助を行うと共に、地域社会に貢献する」との理念を作成している。共通事項では、詳細な地域との貢献・連携の強化について細かく記載されている。   |                     |                                   |
| 2                  | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 経営理念・行動指針・基本方針を毎朝唱和をしている。日々の支援の中で理念に立ち戻ったケアの実践が大切であると考え、唱和後、リーダーが当日の理念に基づいた行動指針を発表し、理念を具体化し意識して、日々のケアに関わっている。   |                     |                                   |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |    |  |   |                     |                                   |
| 3                  | 5  | 地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域活動や地域行事には利用者・職員ともに積極的に参加し関わりを持つようにしている。法人全体で行われる納涼祭や創立記念などには地域の方の参加がある他は、立地条件的に近隣の方の立ち寄りが難しいが、畑仕事をしている時などに地域の方より話しかけがある。ご家族の来訪は頻回にある。よらず相談の場では地域で暮らす高齢者の方の相談や民生委員からの相談などあり地域貢献に努めている。 |                     |                                   |

| 第三者                          | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|------------------------------|----|---|--|---------------------|---|
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |   |  |                     |   |
| 4                            | 7  | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                | <p>自己評価は、管理者が職員から現場の意見を聞きながら作成している。評価を利用者へのサービスの向上への反映が必要であると考<br/>え、評価の改善点については、今後の支援に活かしていこうと考えている。</p>  |                     | <p>職員へは評価の意義を理解してもらう為にも次回からは全職員で作成することが望まれる。今回の評価を全職員で閲覧し、全職員で評価結果を参考に改善計画を立案し、サービスの質向上に向けて取り組まれることを期待する。</p> |
| 5                            | 8  | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議は役場健康保険課職員、地域包括センター職員、地区民生委員、地区自治進<br/>振興行委員、家族代表者の参加の下、併設の<br/>小規模多機能型居宅と一緒に、2ヶ月に1回実<br/>施している。事業所の現状・行事の報告・災<br/>害時・協力依頼などを話し合い、出された意<br/>見や要望を活かしサービスの質向上に役立<br/>てている。</p> |                     |   |
| 6                            | 9  | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                     | <p>介護サービス事業所連絡会に参加（町主催）し、情報提供を受ける他、諸問題が発生した場合は、市町村へ相談し連携を図っている。</p>  |                     |   |

| 第三者                    | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|------------------------|----|--|---|---------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |    |  |   |                     |  |
| 7                      | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | <p>家族来訪時にご利用者の生活・身体状況について詳細に説明する他、状況に合わせ電話で報告している。職員の移動については、3ヶ月に1回発行しているサンホーム通信で報告している。ホーム便りは現在検討中である。金銭管理は、3ヶ月1回報告している。</p> |                     | <p>サンホーム通信では全体の報告は行っているが、ご利用者毎の報告を定期的実施されることが望まれる。</p>   |
| 8                      | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>日常のご家族来訪時に、職員から話しかけを行い意見や要望を聞くようにしている。出された意見や要望を前向きに捉え、職員で話し合いを行い、早期に改善できるように取り組んでいる。</p>                                  |                     | <p>職員へ普段の家族との関わりの中で何気ない一言が苦情や要望であることを認識し、メモに残すことで連絡・報告・話し合いを行い、質向上に役立てていくことを期待する。</p>                          |
| 9                      | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>職員はほぼ定着しており馴染みの関係ができています。ユニット間がキッチンを通じて行き来できる構造から普段から職員・利用者共に交流ができています。</p>  |                     |  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b>     |    |  |   |                     |  |
| 10                     | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | <p>それぞれの職員は、自分を高めたいとの希望を持っており、併設の介護老人福祉施設と一緒に研修計画で内部研修を実施している。</p>  |                     | <p>新任・現任の研修計画を作成し、計画的な学びの機会の確保が望まれる。法人の研修への参加機会のみでなく、グループホーム独自の年間研修計画を立て、段階的・計画的に職員個々の能力に応じた学びの機会の確保が望まれる。</p> |

| 第三者  | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|---|---|---------------------|-----------------------------------|
| 11   | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>       | <p>現在ネットワークがなく地域の同業者との交流は行えていないが、他法人の相互訪問や認知症の基礎研修の実習生の受け入れを行い、情報交換や交流の機会を持ち職員の知識の向上やサービスの質向上に向けて取り組んでいる。</p>   |                     |                                   |
| <p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p> |    |   |   |                     |                                   |
| 12   | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用開始前に家族と共に見学に来てもらったり、介護老人福祉施設から直接入所する方には、職員が老人保健施設に出むいて顔なじみの関係を築いている。また、小規模多機能型を利用しステイ利用を交えながら利用開始に至るケースなど利用者の状況に応じて柔軟な対応を行い、馴染みの関係を築き利用に至っている。</p> |                     |                                   |
| <p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>                                  |    |   |   |                     |                                   |
| 13   | 27 | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                     | <p>自立した生活に向け、職員と共に生活の継続が出来るように盛り付け・配膳・食事の準備・干し柿作りや・洗濯たたみなど家庭的な日々の動きや、季節的な生活の動きを共にしている。畑の野菜作りなどでは長年の経験・体験を聞き、職員が学ぶ機会もある。</p>                             |                     |                                   |

| 第三者                               | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>   |    |  |  |                     |                                   |
| <b>1.一人ひとりの把握</b>                 |    |  |  |                     |                                   |
| 14                                | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>   | <p>自分の思いや意向を表しにくくなってくる中、ご利用者個々の表情や言葉・行動に気をつけながら意向や思いを把握するように努めている。日々過ごす中でご本人が訴えられる思いや意向に出来る限り添えるように支援している。</p>   |                     |                                   |
| <b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |    |  |  |                     |                                   |
| 15                                | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>日常生活からの情報や面会時にご家族から聞き取った情報をフエイスシートに記入し、ケース会議を開催しご本人・ご家族の意向を取り入れ個別具体的な計画を作成している。</p>                           |                     |                                   |
| 16                                | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画の見直しは3ヶ月に1回実施している。</p> <p>月に1回日々のケアを振り返り評価を行い、利用者の変化の兆しや、日々のケアの中での気づき等を取り入れ現状に即した介護計画になるよう見直しを行なっている。</p> |                     |                                   |
| <b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |  |  |                     |                                   |
| 17                                | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>                                   | <p>必要に応じてご利用者の希望や要望に沿って受診や買物などの個別の支援を行なっている。職員に看護師を配置しており入院回避、早期退院の支援、医療処置を受けながらのホームでの生活の継続支援を行なっている。</p>        |                     |                                   |

| 第三者                             | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|---------------------------------|----|--|---|---------------------|--|
| <b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |  |   |                     |  |
| 18                              | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>               | <p>殆どのご利用者が嘱託医の受診を行っているが、ご利用者・ご家族の希望があれば希望のかかりつけ医に受診支援している。月1回、外科、歯科、認知症専門医の往診がある。年1回は健康診断を受けている。</p> |                     |  |
| 19                              | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>重度化・終末期の受け入れは、ご家族・ご本人の希望により受け入れする方針を持っている。</p>   |                     | <p>自然な流れの中で、受け入れについて管理者・職員間で検討し意思統一を図られることを期待する。重度化や終末期に向けてのマニュアルの作成と共に研修の実施が望まれる。</p> |
| <b>5. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |    |  |   |                     |  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>          |    |  |   |                     |  |
| (1)一人ひとりの尊重                     |    |  |   |                     |  |
| 20                              | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>                            | <p>ご利用者の誇りや自尊心を傷つけないよう普段の会話や声かけは気をつけるようにしている。排泄や入浴など羞恥心やプライバシーへ細心の注意を払って支援している。</p>                   |                     |  |
| 21                              | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>             | <p>大まかな基本的な生活の流れはあるが、個別の外出支援・洗濯や掃除などご利用者個々の状況や希望にあった過ごし方が出来るように支援している。</p>                            |                     |  |

| 第三者                           | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---|---|---------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |   |   |                     |                                   |
| 22                            | 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>    | <p>併設の介護老人福祉施設から調理済みの食品の搬入を受けているが、一般食はまとめて保温食器に入れておりご利用者と共に食器への盛り付けている。治療食・刻み・ミキサー食は個別の保温食器に入れており適温で食べられるようになっている。1ヶ月に1回は、なべを各テーブルにおいて鍋料理を楽しんでいる。週1回はなべをテーブルにおいて職員が取り分けて食べる機会を作りご利用者個々の好みや能力の発揮できるよう支援している。</p> |                     |                                   |
| 23                            | 57 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>   | <p>ご利用者の希望の時間や習慣に合わせて入浴できるように支援している。機械浴槽もあり利用者の身体能力に応じて安心して入浴を楽しむ事が出来るように配慮されている。</p>   |                     |                                   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |   |   |                     |                                   |
| 24                            | 59 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>園芸やカラオケ・畑仕事などは実施しており、ご利用者の趣味・嗜好に合わせて楽しみごとを多くもてご利用者一人ひとりが主役になれる場面作りに取り組んでいる。</p>  |                     |                                   |
| 25                            | 61 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                   | <p>日々ご利用者個々の希望や状況に合わせて散歩を行い戸外で気持ちよく過ごせる機会が持てるように支援している。外出の機会を多く持つことでエスケイプが減少している。</p>   |                     |                                   |



| 第三者                        | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| (4) 安心と安全を支える支援            |    |  |   |                     |                                   |
| 26                         | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる    | 夜間と日中は可能な限り玄関は開錠し最低限の施錠にしており、見守りを強化することで利用者の安全性を確保している。   |                     |                                   |
| 27                         | 71 | 災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 2～3ヶ月に1回避難訓練を特別養護老人施設と共に実施している。運営推進会議を通して地域の協力を依頼している。  |                     |                                   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |  |   |                     |                                   |
| 28                         | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている   | 併設の介護老人福祉施設の管理栄養士がカロリー計算した食事の提供を受けており、摂取量からカロリーの過不足や栄養の偏りが把握できるようにしている。飲み物も数種類用意し摂取量チェックし水分バランスにも配慮している。嚥下体操を食前に本人の気分や希望・習慣に添って実施し、機能低下予防を実施している。 |                     |                                   |

| 第三者                     | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|----|---|--|---------------------|-----------------------------------|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |    |   |  |                     |                                   |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |    |   |  |                     |                                   |
|                         |    | 居心地のよい共用空間づくり   |  |                     |                                   |
| 29                      | 81 | 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自然光が差し込む共用空間は、キッチンからの食事の匂い、職員とご利用者の自然な話し声・生活音が流れ、ゆったりと、安心して過ごせる雰囲気が感じられる。リビングには、ソファやテーブル、コタツなどを置き、ご利用者が一人や数人で過ごせるように工夫されている。 |                     |                                   |
|                         |    | 居心地よく過ごせる居室の配慮  |  |                     |                                   |
| 30                      | 83 | 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている                      | 入居前よりご家族には馴染みの使い慣れた物の持込を働きかけている。ご利用者やご家族と話し合いながらご利用者個々の趣味や好み活かされた居心地の良い環境づくりができている。  |                     |                                   |

は、重点項目。